

多様な主体間の連携によるパッションフルーツを用いた緑のカーテン普及啓発と 東京オリンピック・パラリンピック競技大会 参画へ向けた体制づくり

〒850-0036
長崎県長崎市五島町3-3
プレジデント長崎206
電話：(095)893-8085
E-mail:office@ohisama-net.nagasaki.jp
http://www.ohisama-net.nagasaki.jp/



はじめる助成

1年目

知識の提供・普及啓発



地域イベントでの展示と広報

講座への参加	63人
ワークショップへの参加	37人
今年度計画の達成度	80%
活動の全体目標に対する達成度	80%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

活動地域でカメムシが大量発生し、パッションフルーツの葉や実にも取り付き全体的な育成が悪くなった。

■ 工夫した点

地球温暖化対策行動を前面に出さずに、楽しめる緑のカーテンへの取り組みとして広報したこと。

課題

地球温暖化防止対策は全世界が取り組む共通の課題であるが、各地域の特性に合わせて取り組むことが重要であり、何より多くの個人や組織の理解と行動が必要不可欠である。

目標

パッションフルーツ緑のカーテンを普及させることによって省エネルギーを図りながら、パッションフルーツの花や実を活用した産業・観光への価値を地域で認識・共有する。

活動内容と成果

パッションフルーツを用いた緑のカーテンによる省エネルギーに取り組む講座を3回実施した。また、市内の複数施設に緑のカーテンを設置したり、イベントに参加したりすることで市民へ広報活動を行い普及啓発を行った。

小学校跡地を栽培拠点として整備し、活動地域の関係者らとの緑のカーテンネットワークをつくりワークショップを実施した。パッションフルーツ緑のカーテンの認知度を高めていくために、実の加工品としての活用や緑のトンネルづくり、昆虫の餌への利用など活動の継続・発展に向けた取り組みが生まれた。



普及・展開に向けたワークショップ

今後の展望

栽培拠点で増やしているパッションフルーツ苗を活用し、南島原市地球温暖化防止対策協議会や長崎県地球温暖化防止対策推進員との連携によって「楽しめる温暖化対策行動」として緑のカーテンの普及に努めたい。